



Pack
11

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

組み立てガイド

STAGE 41	オイルフィルター	P.161
STAGE 42	スターターモーター	P.165
STAGE 43	ホース	P.169
STAGE 44	フィードライン	P.173



オイルフィルター

オイルフィルターを組み立て、タイミングカバーをエンジンブロックに取り付けよう。



41-1



41-2



41-3



41-4



41-5

ネジB×2



ネジC×2



パーツリスト

- 41-1 オイルフィルター本体
- 41-2 オイルフィルターベース
- 41-3 固定コンポーネントA
- 41-4 固定コンポーネントB
- 41-5 タイミングカバーのフロントカバー

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×2本 (1本は予備)

ネジC (M2.3×4mm) ×2本 (1本は予備)

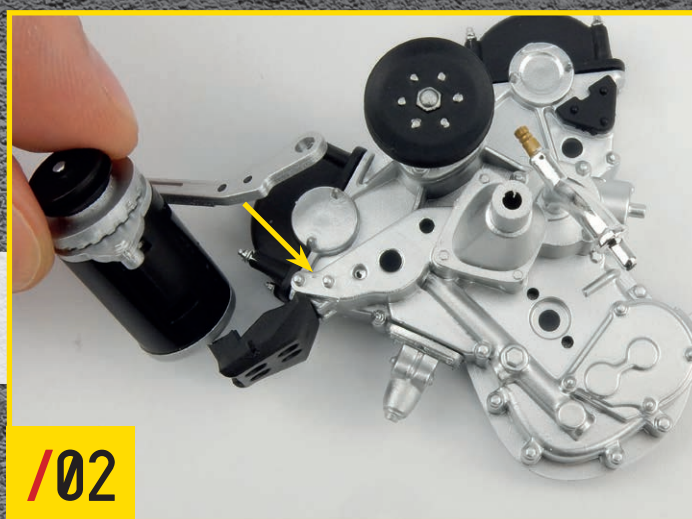
ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 41



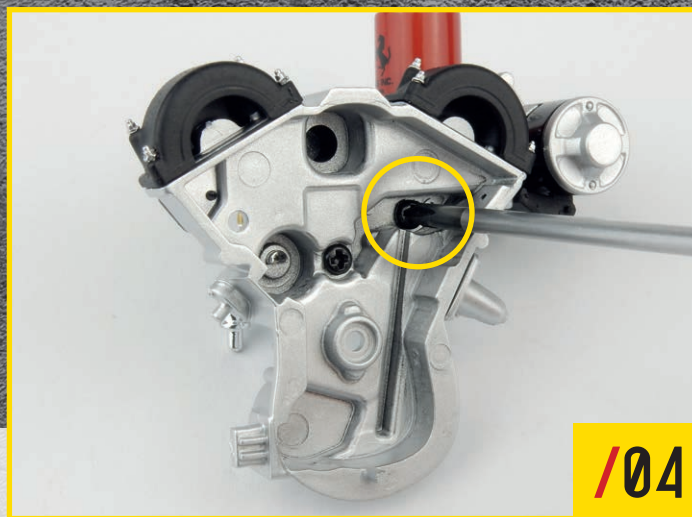
写真のように、41-1(オイルフィルター本体)と41-2(オイルフィルターベース)を合体させる。黄色の矢印に注目。

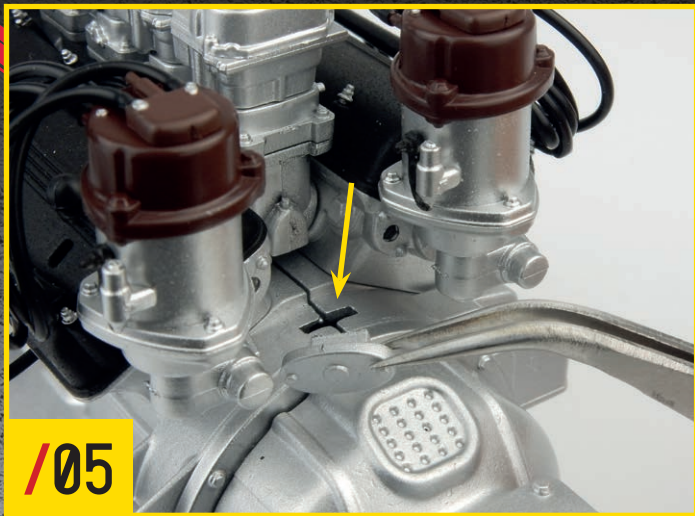
STAGE 40 で仕上げたダイナモとタイミングカバーを用意する。写真で位置を確認して、タイミングカバーにダイナモをはめ込む。



写真のように、オイルフィルターベースのスタッドを穴に挿入し、オイルフィルターのスタッドを穴に挿入し、オイルフィルターを組み込む。

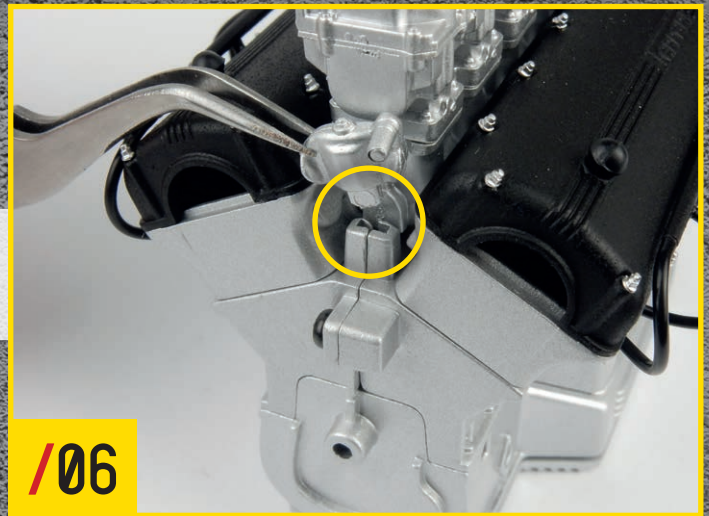
タイミングカバーを裏返し、ネジBで固定する。



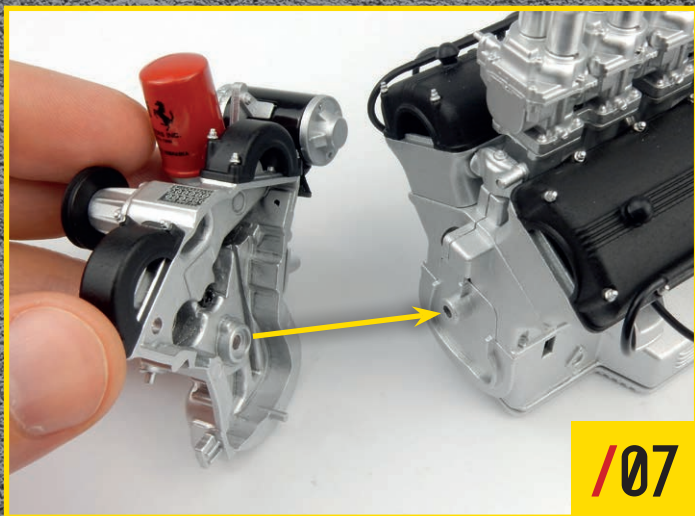


エンジンブロックを用意し、写真のように、41-3(固定コンポーネント A)を差し込む。

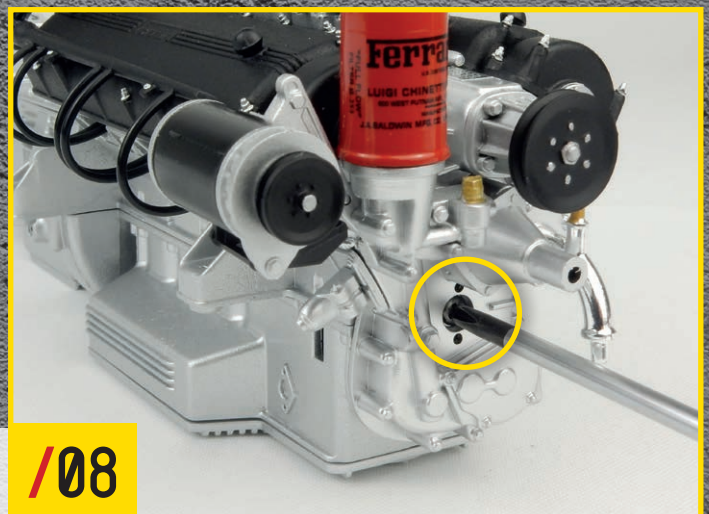
エンジンブロックの反対側のスロットに、41-4(固定コンポーネント B)を差し込む。

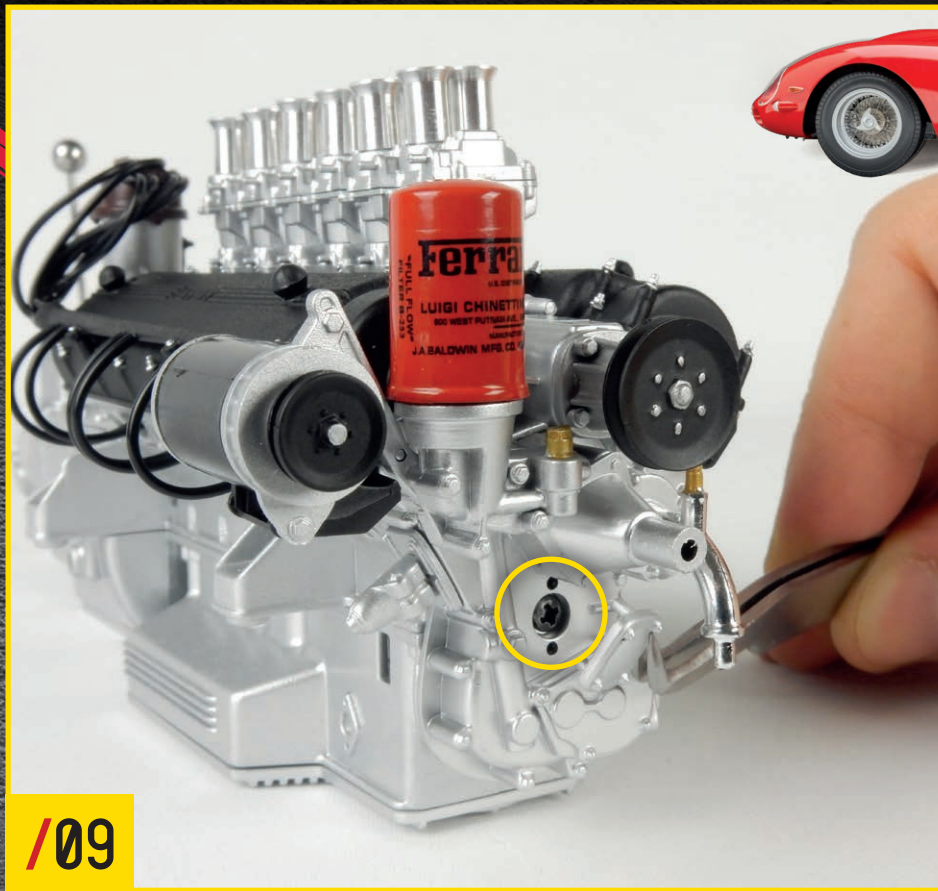


タイミングカバーをエンジンブロックに取り付ける。



ネジCでタイミングカバーをエンジンブロックに固定する。





/09

41-5(タイミングカバーのフロントカバー)のスタッド2箇所をタイミングカバー本体の穴に差し込む。



STAGE 09 の完成

エンジンブロックがここまで仕上がった。

スターターモーター

スターターモーターを組み立て、エンジンブロックに取り付けていく。



42-1



42-2



42-3

42-4



42-5



ネジD×2



パーツリスト

42-1 スターターモーター本体

42-2 ガasket

42-3 ジョイント

44-4 スターターモーターベース

42-5 電磁石

ネジ類

ネジD (P2.3×5mm) ×2本 (1本は予備)

ポイント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締めなくなる場合がある。パーツ同士が一定程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 42



/01

42-2(ガスケット)を42-1(スターターモーター本体)に取り付ける。

写真のように正しく組まれていることを確認しよう。



/02



/03

さらに、42-3(ジョイント)を差し込む。

その上部に44-4(スターターモーターベース)をはめ込む。



/04



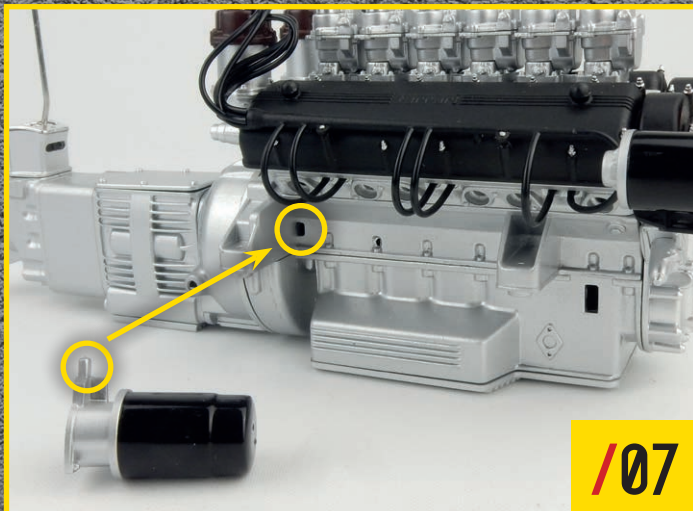
/05

ネジDですべてを固定する。

次に、42-5(電磁石)の外縁の形状をよく見ながら、これまで組み立てたパーツに取り付ける。



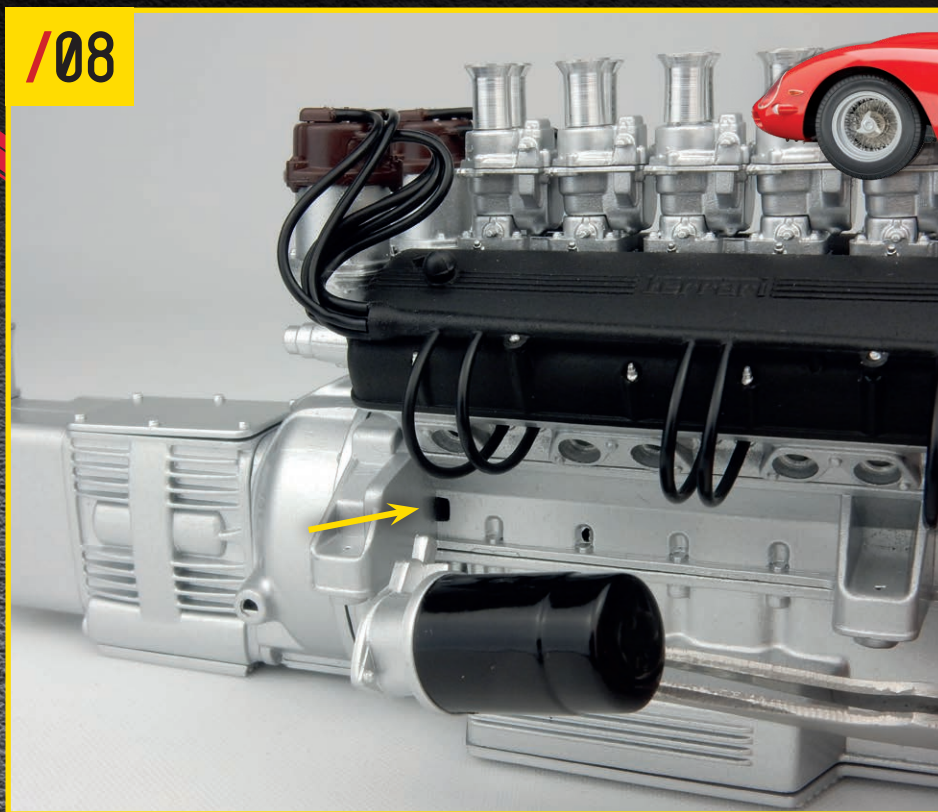
/06



/07

STAGE01 で組み立てたエンジブロックを用意する。写真に示されている穴にモータベースのスタッドを差し込んで、エンジブロックにスターターモーターを合体させる。

/08



スターターモーターがしっかりと収まるまで押し込む。



STAGE 42 の完成

今回の組み立てでエンジブロックがここまでできた。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

ホース

エンジンブロックに、ホースをはじめ、いくつかのパーツを組み込んでいく。



パーツリスト

43-1 オイルホース

43-2 オイルホースキャップ

43-3 ウォーターホース

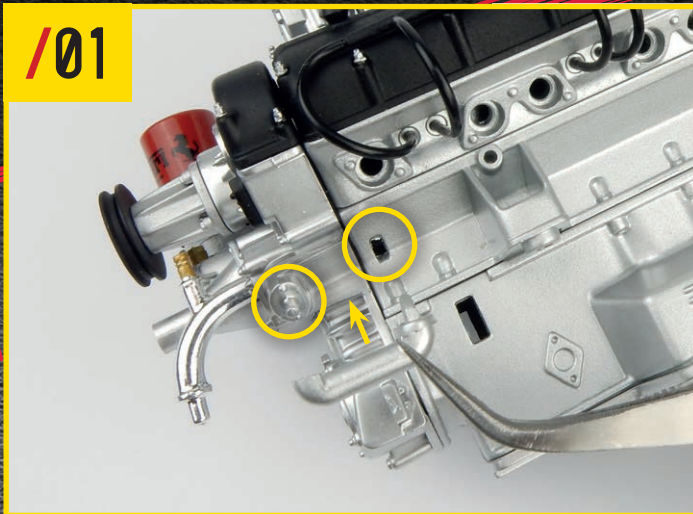
43-4 オイルサンプキャップ

43-5 クーラントホース

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 43

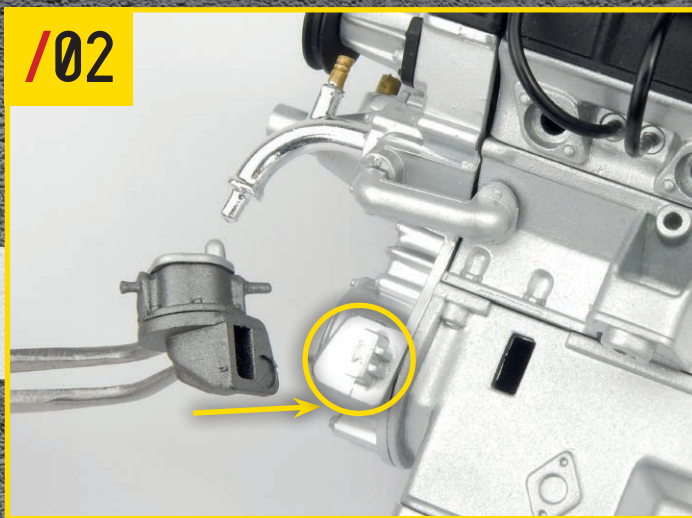
/01



エンジンブロックを用意する。43-3 (ウォーターホース)を写真のように取り付ける。

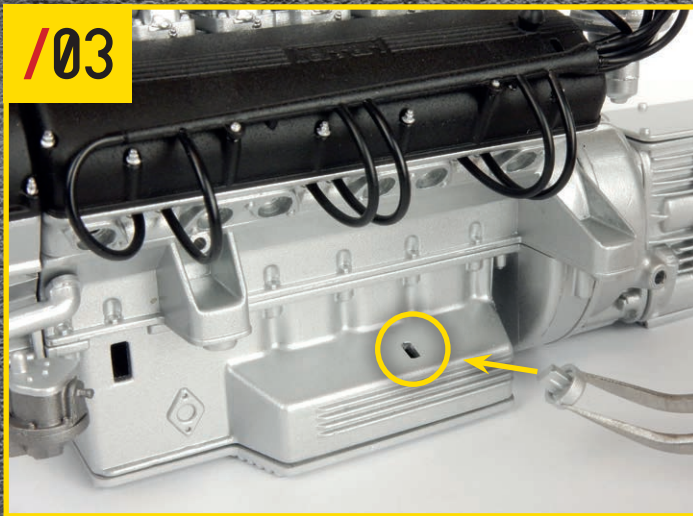
STAGE 39 で組み立てた燃料ポンプをエンジンブロックに取り付ける。位置や向きを写真で確認しよう。

/02

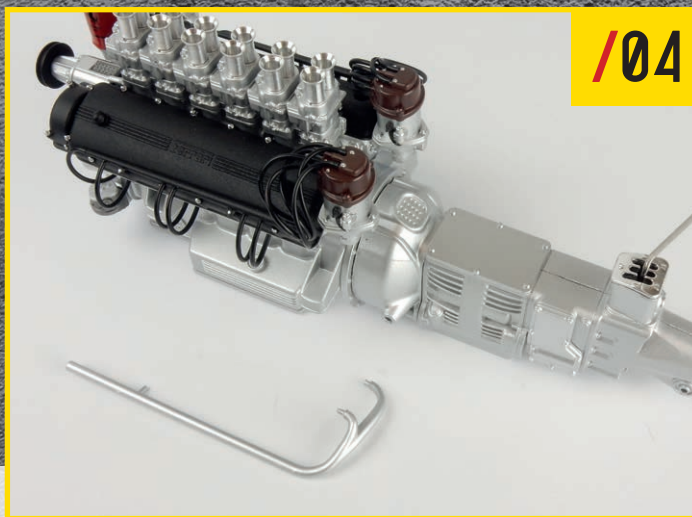


写真のように、エンジンブロックに43-4 (オイルサンプキャップ)を取り付ける。

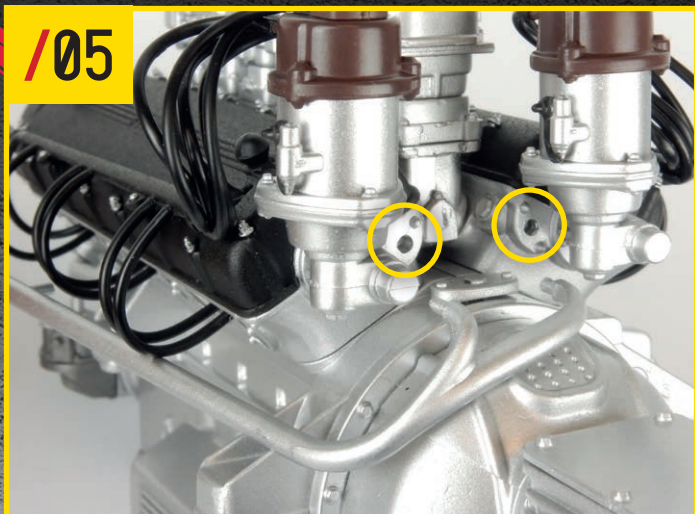
/03



/04

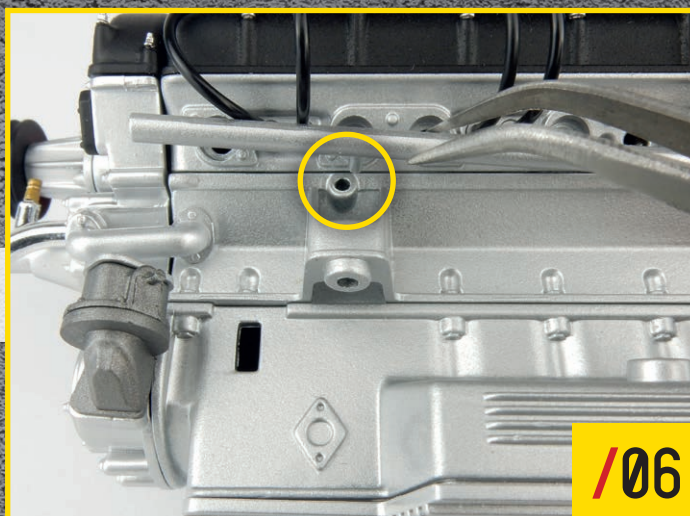


43-5 (クーラントホース)を用意する。



クーラントホースには、分岐した端に小さなスタッドが2つある。これらを写真で示されているシリンダーヘッドの穴に挿入する。

クーラントホースの残りのスタッドを、写真で示している穴に挿入する。

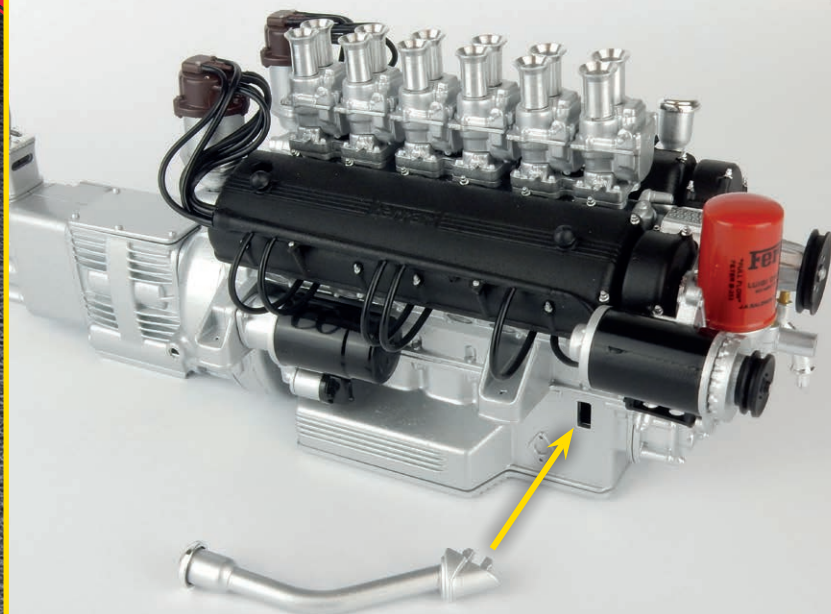


43-2(オイルホースキャップ)を43-1(オイルホース)の開口部に挿入する。

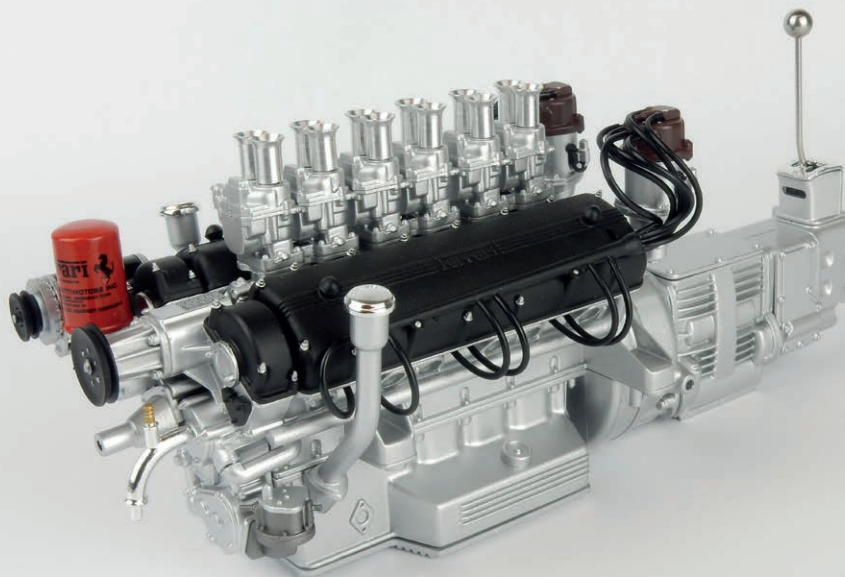
写真をよく見て、1本目の43-1(オイルホース)をエンジンブロックの左側の穴に押し込む。



/09



もう一本の43-1(オイルホース)をエンジンブロックの右側の穴に押し込む。



STAGE 09 の完成

エンジンブロックがここまで仕上がった。

フィードライン

フィードラインやその他いくつかのパーツをエンジンブロックに取り付けていく。

44-1



44-2



44-3



44-4



44-5



44-6



パーツリスト

44-1 右シリンダーヘッド固定パーツ

44-2 右シリンダーヘッド固定ベース

44-3 左シリンダーヘッド固定パーツ

44-4 フィードライン A

44-5 コネクターホース

44-6 フィードライン B

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



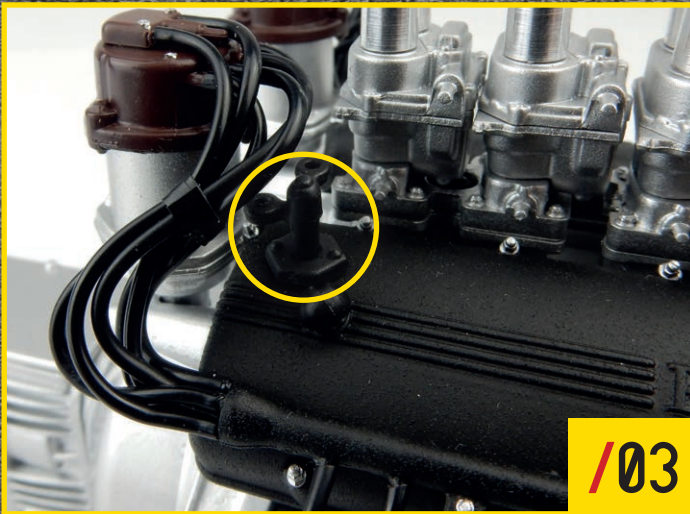
44-1 (右側シリンダーヘッド固定パーツ) を 44-2 (右シリンダーヘッド固定ベース) に取り付ける。44-1 の先端は D カット、44-2 の奥の穴は D カットになっていることを確認する。

写真で示されているベースの形状を把握しておこう。次のステップで確認が必要になる。

/02

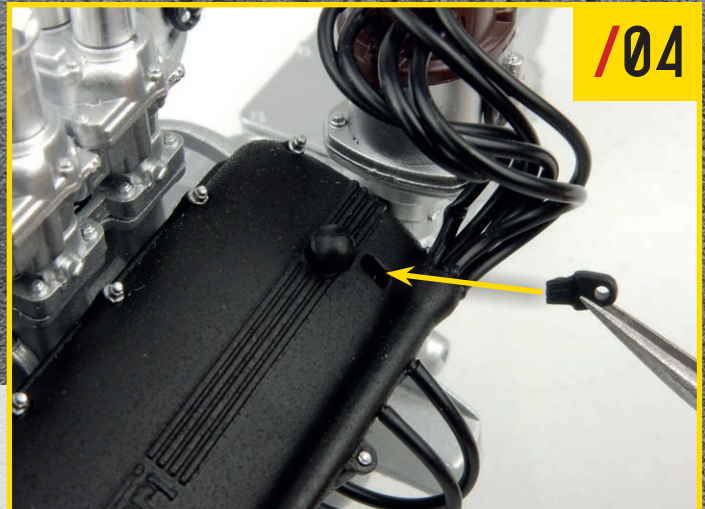


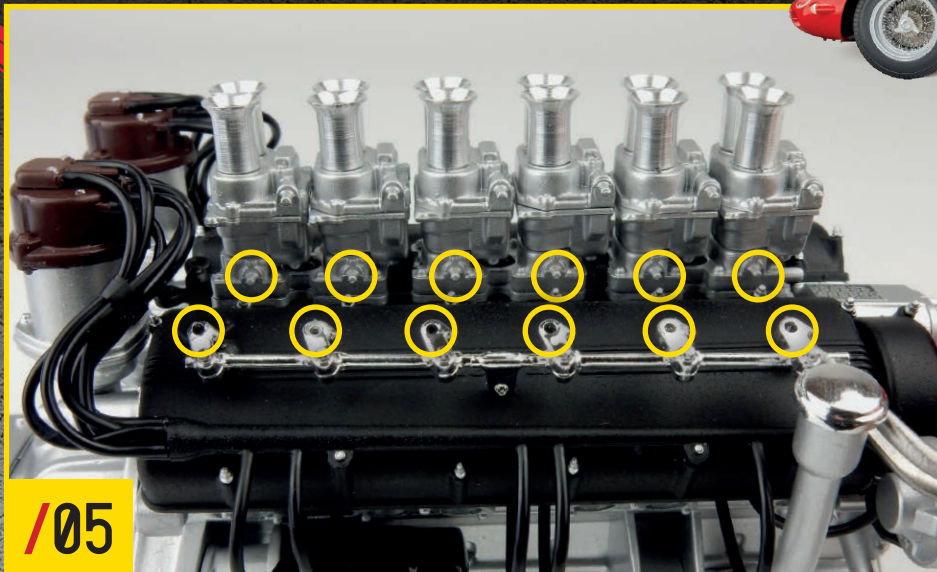
エンジンブロックを用意する。右側のシリンダーヘッドの六角穴に固定パーツを挿入する。ベースの形を確認して、写真のように正しく挿入する。



44-3 (左シリンダーヘッド固定パーツ) を左シリンダーヘッドの長方形の穴に挿入する。

/04

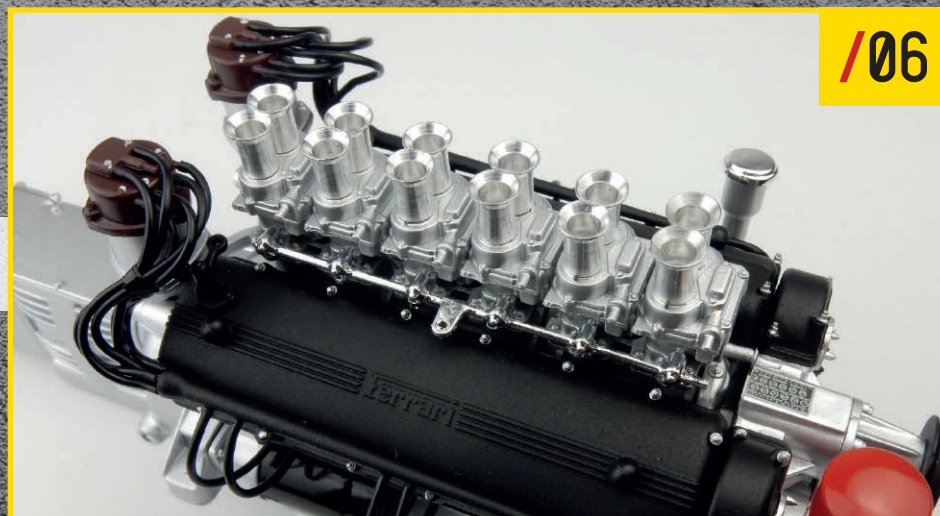




/05

写真で示した位置を確認しながら、44-4(フィードラインA)を右シリンダーヘッドのキャブレターに取り付けていく。

44-4(フィードラインA)が正しく取り付けられているかどうか確認しよう。



/06

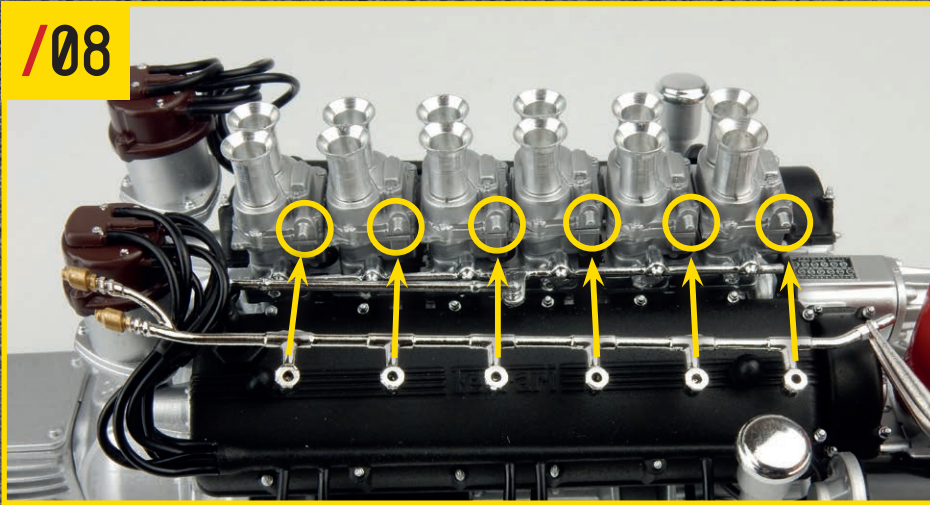


/07

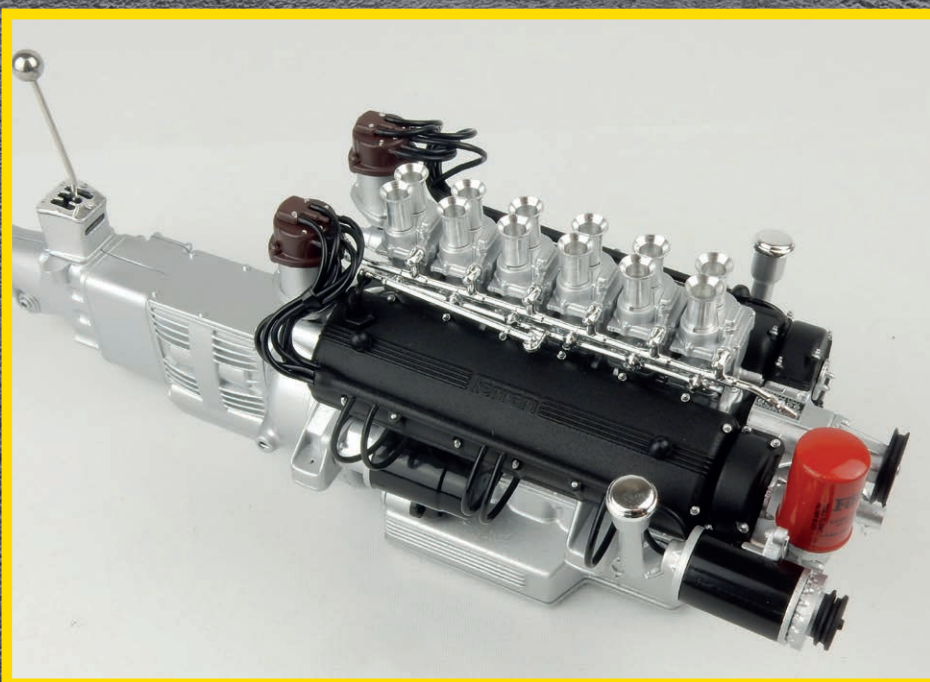
44-5(コネクターホース)を取り付ける。スタッドを44-4(フィードラインA)の穴と、右シリンダーヘッドの所定の位置に挿入する。



/08



44-6 (フィード ライン B) をキャブレターに取り付ける。どのように組み合わせるのか、写真で確認しよう。



STAGE 44 の完成

フィードラインを取り付けた後のエンジンブロック。他のパーツとともに大切に保管しておこう。